

危険物新聞

63年度 第2回危険物取扱者試験

10月10日(祭) 大阪工大で

〔問い合わせ〕大阪府消防試験研究センター大阪府支部では、昭和63年度第2回危険物取扱者試験を次のとおり実施する。

▷試験日 10月10日(祭)

午前 乙種4類

午後 甲種、乙種1~6類、丙種

▷試験会場 大阪工業大学(大阪市旭区)

▷願書受付 9月5日(月)、6日(火)

▷受付場所 大阪府職員会館

受験準備講習は乙4と丙種

受験準備講習は、乙種4類及び丙種について大阪、堺、茨木、守口会場で別掲のとおり行なわれる。

また準備講習受付は8月26日から府下7会場で行なわれる。

なお、甲種、4類以外の乙種の講習は今回行なわれず、次回、12月試験時において行なわれる所以注意されたい。

第416号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 松村光惟

発行人 大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9717-5910

定価 1部 60円

休日・夜間コースの電話受付はじまる

休日コース(100名)、夜間コース(70名)については、定員が少ない関係上、いつもの様に電話予約による受付をしている。希望者は電話(06-531-9717)で予約されたい。満席になり次第締切り。

62年度 全国取扱者試験結果

予備講習の受講効果大

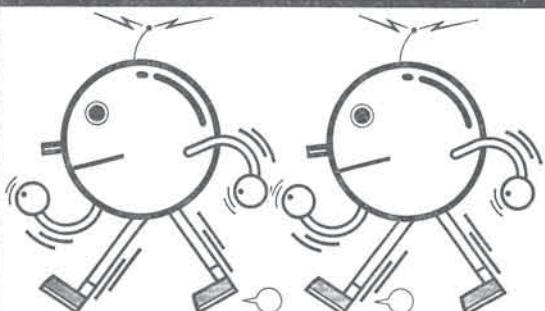
消防試験研究センターでは、昭和62年度各都道府県別危険物取扱者試験結果をこのほど公表した。

合格率を見ると甲種は、第1位が愛媛県の50.9%、大阪は45.9%で第4位(全国平均31.6%)、乙種4類は第1位が島根県の43.8%、大阪は36.8%で第7位(全国平均33.3%)、丙種は第1位が島根県の74.4%、大阪は69.3%で第3位(全国平均58.8%)となっている。

全国47都道府県中、大阪は甲種、乙種4類及び丙種とも上位の成績をおさめている。

とくに本会主催の予備講習受講者の合格率は甲種70%、乙種4類52%及び丙種91%と群を抜いているが、その要因は甲種3日、乙種4類2日、丙種1日のキメ細い講習とテキスト・資料の充実等があげられる。(次ページへ続く)

ハイテクテク。



●防災のトータルプランナー

YAMATO

ヤマト消火器株式会社

■本社 〒537 大阪市東成区深江北1-7-11 TEL.(06)976-0701㈹

■東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)446-7151㈹

常に防災の歴史とともに歩みつづけ
さらに未来に向ってハイテク防災空間を拓げつつあるヤマト。
防災のトータルプランナーとして、確実に前進をしています。

消火装置 消火器 警報装置 避難設備 各種防災機器

62年度 予備講習受講者の成績

<甲種>

受講者合格率69.9%、うち大卒合格率75.9%

62年度中の府下甲種受験者は1,166名で、そのうち講習受講者は361名（第1回、第3回試験時に実施）であった。

821名の受験申請者の内訳は次のとおりで、当日の欠席者が35名もあって、合格率は47.5%であった。

申請者	欠席	実受験者	合格者	合格率	欠席率
1,166	67	1,099	504	45.9%	5.7%

そのうち受講者361名について、受験番号を調査したが254名が判り、174名が合格した。

合否判断者のうち欠席率を2.1%とみると、欠席者が5名と推定される。

254名中の真の合格率は、 $174 \div (254 - 5) \times 100 = 69.9\%$

そこで受講者361名の欠席率を2.1%とみると8名欠席となり、(361-8)名が受験したことになり、これに合格率69.9%をかけると、合格者は246名と推定される。その結果非受講者の欠席率は7.3%となる。

1,166名の全受験申請者のうち合格者は504名、受講者の合格者246名で、非受講者の合格者は258名となる。次表のとおり受講者と非受講者では合格率にして約35%の差がみられる。

区分	申請者	欠席	実受験者	合格者	合格率	欠席率
受講者	361	8	353	246	69.9%	2.1%
非受講者	805	59	746	258	34.6%	7.3%
全受験者	1,166	67	1,099	504	45.9%	5.7%

<乙種4類>

受講者合格率52.3%、非受講者合格率29.2%

乙種4類受験申請者は11,793名で、試験当日の欠席者は963名で、欠席率は8.2%であった。

11,793名の内訳は次のとおりで、合格率は36.8%である。

申請者	欠席	実受験者	合格者	合格率	欠席率
11,793	963	10,830	3,989	36.8	8.2

このうち講習受講者は3,738名で、合否の判断者は（受験番号の判っている者）3,317名で、うち合格者は1,665名であった。

合否判断者の欠席率を4.1%とみると欠席者は153名と推定され合格率は $1,665 \div (3,317 - 153) \times 100 = 52.3\%$ となる。

受講者は3,738名に、この欠席率、合格率をあてはめると欠席者153名、合格者1,875名となる。

つまり、非受講者8,055名中合格者は2,114名で、欠席率10.1%（810名）とみると、その合格率は29.2%となり、受講者と約23%もの差がみられる。

区分	申請者	欠席	実受験者	合格者	合格率	欠席率
受講者	3,738	153	3,585	1,875	52.3%	4.1%
非受講者	8,055	810	7,245	2,114	29.2%	10.1%
全受験者	11,793	963	10,830	3,989	36.8%	8.2%

<丙種>

受講者の合格率は91.3%

丙種受験申請者は8,134名と多く、その大半は工業高校、専門学校の生徒とみられ、本会の講習受講者は677名と全体の1割にも未だない。

講習受講者677名で、その内、合否判断者617名中合格者は548名、見掛けの合格率は88.8%となるが欠席率を2.8%とみると17名の欠席者がみこまれ合格率は91.3%となる。

また、非受講者は次表のとおりと推定され、合格率は67.3%となり、受講者とはかなりの差が出る。

区分	申請者	欠席	実受験者	合格者	合格率	欠席率
受講者	677	19	658	600	91.3%	2.8%
非受講者	7,457	444	7,013	4,717	67.3%	6.0%
全受験者	8,134	463	7,671	5,317	69.3%	5.7%

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-8467~8

昭和62年度 都道府県別 危険物施設数と危険物取扱者試験受験者数・合格率

都道府県	危険物施設数	受験者数	甲種	乙種4類	丙種	受験者数	合格率
			合 格 率				
北海道	40,905	275	14.2	11,342	31.7	15,097	59.3
青森県	10,085	57	33.3	2,510	27.2	6,200	56.7
岩手県	8,696	35	17.1	2,257	28.9	4,530	65.8
宮城県	11,129	89	22.5	3,636	27.8	5,061	58.0
秋田県	8,221	24	16.7	1,752	35.3	4,715	55.6
山形県	8,774	33	18.2	1,572	35.1	3,485	65.7
福島県	12,887	216	18.1	3,272	31.0	7,117	53.8
茨城県	17,983	624	26.8	4,956	30.9	3,636	60.6
栃木県	13,317	108	30.6	2,957	29.9	4,871	59.2
群馬県	14,799	132	34.8	4,276	30.1	1,376	63.1
埼玉県	22,828	373	35.7	4,663	33.7	2,648	66.1
千葉県	26,207	1,050	28.1	5,605	34.6	2,069	64.7
東京都	33,646	625	46.1	20,023	32.5	7,725	67.4
神奈川県	31,382	1,367	35.6	7,175	34.1	4,567	54.0
新潟県	18,772	99	24.2	3,934	33.7	3,878	64.2
富山県	8,850	122	32.0	1,917	43.1	2,425	68.5
石川県	7,786	21	23.8	1,493	33.7	2,963	58.3
福井県	5,520	76	15.8	1,243	39.8	2,120	66.0
山梨県	5,502	24	16.7	1,134	30.3	1,740	67.6
長野県	17,950	74	31.1	2,630	36.2	2,759	63.2
岐阜県	13,582	89	22.5	3,238	34.8	3,714	52.0
静岡県	21,292	376	22.1	7,740	34.9	7,928	61.2
愛知県	34,080	638	24.6	12,118	36.5	14,095	58.6
三重県	13,496	299	32.8	3,586	32.2	2,902	55.4
滋賀県	7,879	184	34.2	2,649	31.1	2,087	49.0
京都府	8,504	237	36.7	3,588	36.8	2,003	62.0
大阪府	32,374	1,099	45.9	10,830	36.8	7,671	69.3
兵庫県	24,922	593	30.7	7,886	33.9	6,668	52.8
奈良県	4,408	52	26.9	1,284	31.7	843	49.5
和歌山县	6,722	129	38.0	1,517	39.0	1,386	50.8
鳥取県	3,689	5	20.0	542	42.6	1,180	70.9
島根県	4,896	18	0.0	728	43.8	2,236	74.4
岡山県	13,058	577	19.2	3,667	29.5	4,357	47.7
広島県	13,102	252	32.9	4,734	32.3	6,000	50.1
山口県	11,001	451	38.1	3,152	35.6	5,532	63.0
徳島県	4,459	52	46.2	1,308	30.7	1,890	52.3
香川県	5,460	50	32.0	1,194	35.6	1,353	65.4
愛媛県	8,277	108	50.9	1,394	36.7	2,813	47.2
高知県	3,913	10	0.0	858	31.1	1,723	54.4
福岡県	19,076	175	39.4	6,973	33.2	9,057	58.9
佐賀県	4,597	35	25.7	1,198	29.7	1,823	60.2
長崎県	5,904	25	16.0	1,926	42.7	3,638	62.3
熊本県	7,886	68	8.8	2,419	28.5	4,980	51.9
大分県	6,436	235	20.0	1,727	27.6	3,027	52.1
宮崎県	5,203	120	30.8	2,034	27.1	3,827	63.8
鹿児島県	8,172	19	5.3	2,476	29.2	4,314	47.1
沖縄県	3,450	19	15.8	1,560	23.3	1,494	43.0
合計	620,780	11,339	31.6	180,673	33.3	197,523	58.8

安全功労表彰

攝津・阪本会長ら長官表彰

昭和63年度安全功労表彰が今年も行われ、7月5日自治省で消防関係の長官表彰式が挙行され、個人17名、団体9機関が表彰された。大阪府関係では次の3氏で、舛大阪府危険物安全協会阪本理事も受賞の栄に輝いた。

▷安田進一(大東市火災予防協会会長) ▷阪本義春(摂津市防火安全協会) ▷堀喜代松(都島防火協力会副会長)

消防法の一部改正

**別表(品名)関係は
当分の間、旧法(現行)で**

昭和63年5月24日、消防法の一部が、別表の危険物指定を柱に大きく改正された。(詳細は6月、7月号に記載)

ところが今回の改正で、改正内容により施行日が3期日分かれているため一部で誤解を生じているようであるが、消防法別表関係はX日とされており、X日は昭和65年5月24日以前となることは確定しているが、63年8月1日現在で未定である。いずれ政令によりX日が定められ、それまでは現行法が生きているので間違いないようにされたい。

すなわち、新しい指定数量が政令で定められたり、濃硫酸や生石灰が危険物からはづれるということは、その施行日であるX日が決まるまでは、従前どおり危険物である。

また、品名や指定数量が変わったり、新しく危険物に指定されることによる許可危険物施設については、前記X日が

決った日から、次のフローチャートによってその経過措置がとられることになる。



危険物設備の設計・施工 保安点検・検査

設備の安全を創造する

①新栄プラント建設株式会社

本社 大阪市南区南船場2丁目7番14号
〒542 (大阪写真会館)
電話 大阪(06) 271-5588(代)

暮らしに安心と安全をお届けする

屋内外消火栓設備

創業30年の実績と経験で信頼いただき
防災のことならサンワにお任せください

スプリンクラー設備

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

ドレンチャー設備

株式会社 三和高会

泡消火設備

本社 大阪市西区京町堀2丁目1番17号

ガス消火設備

平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号

粉末消火設備

〒550 電話 (06) 443-2456(代)

自動火災報知設備

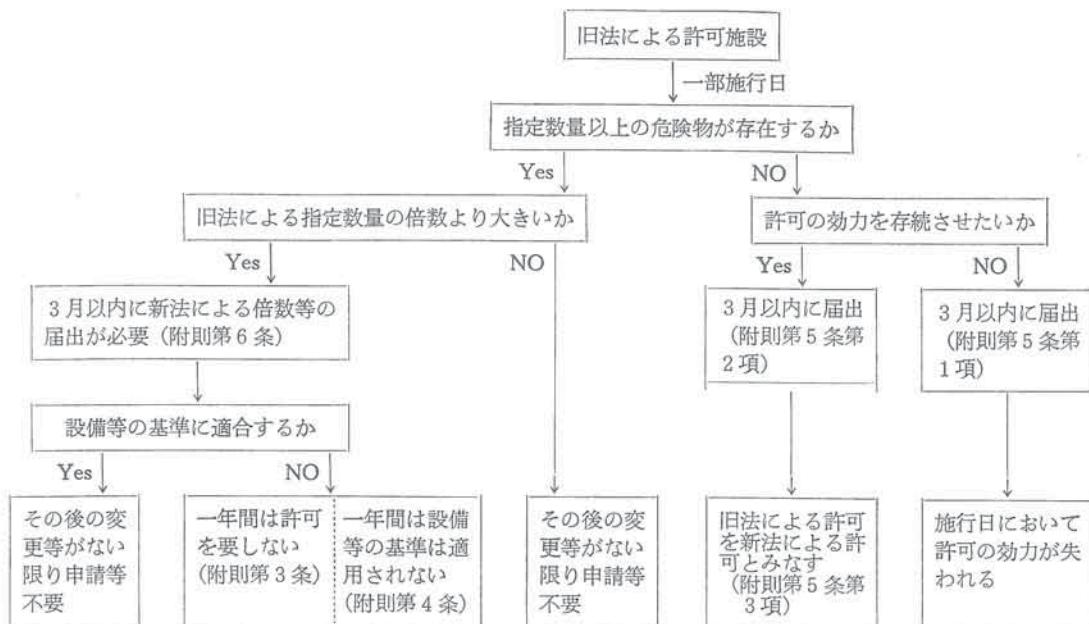
〒547 電話 (06) 707-3341

避難設備

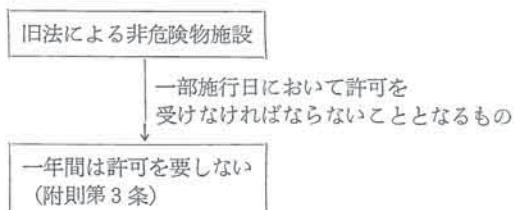


消防法一部改正に伴う経過措置フローチャート

1 旧法による許可施設について



2 旧法による非危険物施設について



安全が見える恋つき またひとつ超えました。

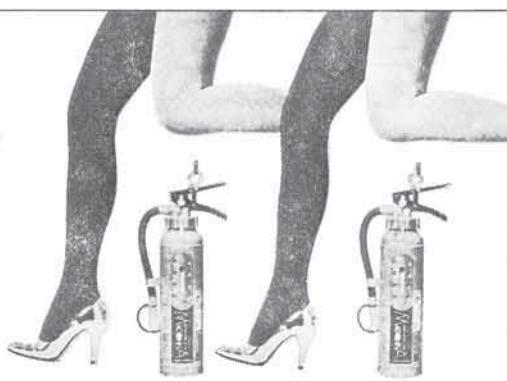


安心小窓がついた
モリ型の消火器
MADONNA

火災御見舞金(最高20万円まで)つき

森田ポンプ株式会社

本社/〒544 大阪市生野区小路東5-5-20 TEL(06)751-1351代
営業所/東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・高崎
静岡・富山・広島・松山・札幌・旭川



危険物取扱者 保安講習

危険物取扱者の保安講習は、消防法13条の23で定められた法定の義務講習である。

危険物製造所等（ガソリンスタンド、タンクローリー等の危険物施設）で危険物の取扱いに従事する危険物取扱者（保安監督者を含む）は、定められた期限内にこの講習を受講しなければならない義務がある。受講義務者が期限内に受講しないときは、免状の返納が命ぜられることがある。

また、上記以外の危険物取扱者も受講することができ、他府県で交付された免状所有者も大阪府で受講することができる。

定められた期間は、原則として免状交付、又は保安講習受講日より5年以内である。ただし、昨年に法令の改正があって、昭和62年5月1日以降に免状を取得したり、保安講習を受講した者は、期限が3年となっているので間違いのないように。

大阪府では、関大阪府危険物安全協会が大阪府より委託を受け、本年も7月1日から既にスタートし、63年度分として次のように計画されている。（一部会場の都合等で予定又は未定のところがある。）

受講手続きの手順

- 受講申込書（所定の往復ハガキで郵送） 本人→協会
- 受講受付日・受講日決定通知（返信ハガキ）協会→本人
- 受講申請
 - 受付指定日に指定場所で受講申請書（返信ハガキ）に4,000円の大坂府証紙（受講手数料）を貼付して申請のこと。（証紙は受付場所で発売）
 - 受講票とテキストを交付

4 受講

講習当日、受講票、免状及びテキストを持参し、所定の講習3時間受講すると、免状に受講済印を押し交付。

保安講習63年度実施予定

〔回数〕	〔実施日〕	〔会場〕	〔区分〕
10	9月3日	大阪トラック会館（ローリー）	
11	9月22日	臨海センター	（コンビナート）
12	9月29日	同 上	（同 上）
13	10月6日	堺市民会館	（給油所）
14	10月7日	臨海センター	（コンビナート）
15	10月12日	岸和田鉄工金属団地会館（給油所）	
16	10月14日	臨海センター	（コンビナート）
17	10月19日	守口文化センター	
18	10月20日（夜）	臨海センター	（ローリー）
19	10月21日	大阪商工会館	（給油所）
20	10月26日	同 上	
21	10月27日	大東文化センター	（給油所）
22	11月2日	高槻市消防本部	
23	11月11日	臨海センター	（コンビナート）
24	2月2日	堺市民会館	
25	2月15日（前）	大阪商工会館	（化 学）
26	2月15日（後）	同 上	（同 上）
27	2月16日	大阪商工会館	
28	2月17日	同 上	
29	2月21日	茨木商工会館	
30	2月22日	枚方農協会館	
31	2月23日	（布施）弘容ビル	
32	2月一日	豊中市民会館（未定）	
33	2月27日	大阪商工会館	

（注）区分に明記していないのは「その他一般」

消防点検は…マルナカ



マルナカは、社会に「安心」を
提供する防災のプロフェッショナルです。

大阪本社 〒530 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 TEL (06)371-7775(代)

東京本社 〒113 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 TEL (03)944-0161(代)

神戸マルナカ 〒653 神戸市長田区東尻池町3丁目4番19号 TEL(078)681-5771(代)

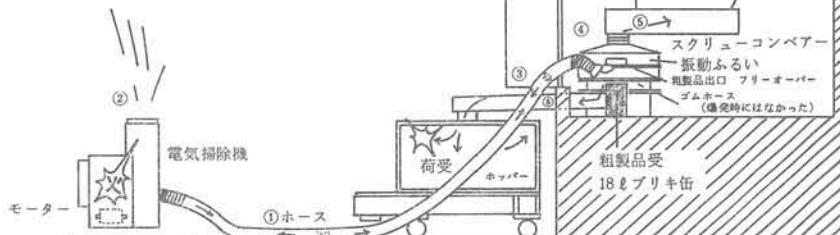
■ 危険物施設の事故例 ■

金属粉粉碎工場で粉じん爆発

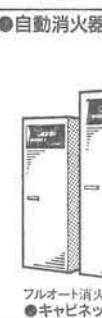
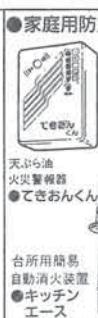
昭和61年12年、岐阜県の金属粉製造所（危険物製造所）において、床にこぼれた金属粉を電気掃除機で掃除中、掃除機が爆発し、粉碎機本体に誘爆、工場を大破したもの。

【事故の概要】

この事故は金属粉末製造工場の粉碎設備からこぼれ、室内の床上に1mmから2mmの厚さにたまっていた金属粉（第2類…金属粉A「マグネシウムとアルミニウムの合金粉」）を電気掃除機（非防爆構造）で吸引掃除中に掃除機が爆発し、金属粉碎機本体に誘爆し、工場を大破したもの。爆発の原因は、電気掃除機内のモーター火花又はモーター駆動部での摩擦火花により金属粉じんが着火爆発し、火炎が吸引ホース内を逆流し、更に周囲の金属粉の誘爆を引き起したものと推定される。



- ① 掃除機ホースで吸引した、金属粉じん。
- ② モーター火花か、モーター部での粉じん摩擦火花で着火。（小爆発）
- ③ 掃除機の蓋を吹き飛ばし、ホース内を爆風と火炎が逆流して吸口より噴出。
- ④ 口を開いていた粗製品出口のフリーオーバーからの風圧が
- ⑤ 振動ふるいや周囲の粉じんを舞い上げながら排出ホッパー内や荷受ホッパー内に入る。
- ⑥ 一瞬遅れてホース内を走った火炎により、その粉じんに着火し大爆発を起した。



防災商品 ア・ラ・カ・ル・ト

— ご家庭から産業界まで幅広く活躍 —

株式会社 初田製作所

本社工場/大阪府枚方市招提田近3-5 〒573 TEL (0720) 56-1281㈹
大阪支社
〒555 大阪市西淀川区千舟1丁目5番47号 ☎ (06) 473-4870

危険物取扱者養成講習ご案内

昭和63年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日 時・会 場

種 別		講 習 日	時 間	会 場
乙種 第4類	1期	9月12日(月)、9月21日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
	2期	9月14日(水)、9月22日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	3期	9月13日(火)、9月14日(水)	10時～16時30分	堺市立動労会館 (高野線堺東駅ヨリ13分) (阪堺線宿院駅ヨリ6分)
	4期	9月20日(火)、9月21日(水)	9時30分～16時	茨木市商工会館 (茨木駅ヨリ約13分)
	5期	9月8日(木)、9月9日(金)	10時～16時30分	守口市民会館 (地下鉄守口駅スグ、京阪守口駅ヨリ5分)
	夜間コース	9月8日(木)、9月13日(火) 9月14日(水)、9月21日(水) 9月27日(火)	18時～20時30分	大阪府商工会館
	休日コース	9月4日(日)、9月15日(祭) 9月23日(祭)	9時30分～16時	大阪府中小企業文化会館 (地下鉄谷九駅南へ約5分)
丙種	9月28日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館	

2. 受付期間と場所

受 付 場 所	日 時
豊中市消防本部内(阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分) 豊中防火安全協会	8月26日(金) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内	8月26日(金) 午後1:00～4:00
東大阪市西消防署内(近鉄・小坂駅北へ6分) (地下鉄・守口駅前)	8月29日(月) 午前10:00～11:30 8月29日(月) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内	8月30日(火) 午前10:00～11:30
堺市消防署内(阪堺線・大小路駅前)	8月30日(火) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階(地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	9月2日(金) 午後1:00～4:00 又は 9月7日(水) 午後1:00～4:00
大阪府危険物安全協会	

3. 夜間コース、休日コースの申込方法

夜間(定員70名)、休日(定員100名)コースは電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 受 講 会 費(会費には、各テキスト代を含みます) テキスト不要の場合は乙種は2,000円減額。

種 別	会 員	会 員 外	備 考
乙 种	9,000円	11,000円	
乙 种(夜)	11,000円	13,000円	
休 日 コ ー ス	14,000円	16,000円	もぎテスト実施
丙 种	4,000円	5,000円	